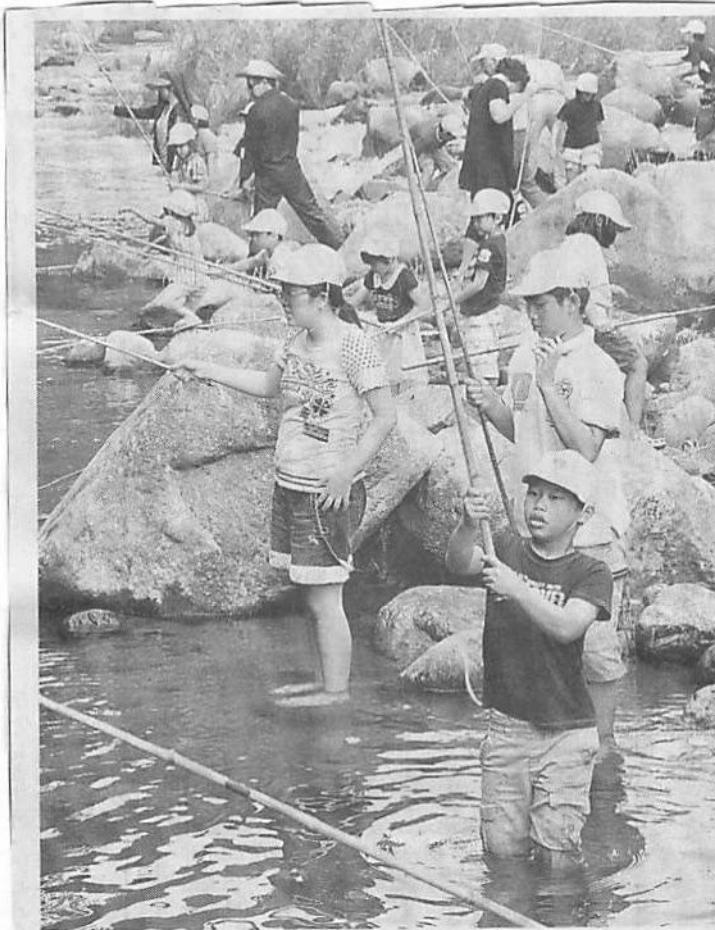


26.7.20 宮日

## 川釣り楽しい

### 日南・酒谷小 児童が体験



川に浸りながら釣りを楽しむ児童ら

子どもたちに川に親しんで  
もらおうと、日南広渡川漁協  
(戸田博組合長)は18日、日南

市の酒谷キャンプ場の酒谷川  
で釣り教室を開いた。酒谷小  
の全校児童24人が参加。タカ

ハヤやカワムツを釣り上げ、  
大きな歓声を上げていた。  
同漁協は同市を流れる広渡

川と酒谷川を管轄。川辺の環境が悪化する中、自然にやさしい川づくりを学んでもらおうと毎年開催している。

戸田組合長は「最近は釣りの経験のない子どもも多く、ミミズを触れない子もいる。川にどんな生き物がいるのかを学び、自然と存分に触れ合って」とあいさつ。

ウナギを捕る「ぼつぶ」やエビ籠、箱メガネ、投げ網などを紹介し、近くで捕った手長エビやモクズガニ、カメなどを見せて、自然の豊かさを訴えた。児童らはミミズやうどん、ソーセージを餌に、竹ざおで釣りを開始。漁協関係者らの指導を受けながら次々と魚を釣り上げ、記念写真を撮影した。餌を針に付けるのに苦労する児童や、川に入つていく児童もいた。

体長7寸ほどのタカハヤを釣った中村健志君(6)は「ミズが怖かつたけど、初めての釣りで魚が掛かったのでうれしかった」と笑顔だつた。